

第43回全国優良読書グループ表彰

三原コスモス文庫（三原市）

昭和55年に結成され、以後30年、毎月2回の定期的な活動のほか、各種イベントへも積極的に参加するなど、熱心な活動を行っています。会員は自作の布絵本等を使った読書活動や、多くの施設や個人の方との交流等のボランティア活動を続けています。

最近では、これらの布絵本等が、三原市内はもとより近隣市の施設にも貸し出され、子どもたちの心身の成長に大きく貢献しています。

これらの活動は、他市町の読書関係団体にも影響を与え、布絵本の制作やこれを活用した取組が県内に広まりつつあります。

第39回広島県読書推進運動協議会表彰

広島県知事賞

おはなしエルマー（広島市中区）

平成12年に結成され、広島市吉島公民館を中心に、保育園、児童館、小中学校等で、年間120回程度のおはなし会活動や絵本相談を行うなど、精力的な活動を続けています。

読み聞かせに加え、遊びを通して絵本の世界を楽しむプログラムを作成し、定着させるなど、その活動は独創性に富み、広島市内外から出演の依頼が寄せられています。

さらに、自ら研修会を開催するとともに、中学生の読み聞かせ体験のサポートを行うなど、自己研鑽、人材育成にも熱心に取り組んでおり、活動拠点の公民館図書室における貸出し冊数の大幅な増加など、地域の読書活動に大きく寄与しています。

広島県議会議長賞

えほんの森（三原市）

平成6年から三原市立本郷小学校を中心に活動しています。小学校や地域でよみかたり活動を続けているほか、代表者宅で家庭文庫を開設するとともに、公設民営の「ほんごう子ども図書館」の設立・運営にも携わっています。これらの活動によって、本を通して、幼児の時から一人一人の子どもの成長を見守り続けています。

また、三原市の学校図書ボランティア交流会にも参加し、他団体と交流を深めるとともに、幼稚園等での講演会の講師を務めるなど、指導力も発揮しており、地域の読書推進に尽力しています。

奨励賞

えほんくらぶ ぐりとぐら (広島市安芸区)

平成9年に絵本作家の研究グループとして発足し、広島市立安芸区図書館を中心に、学校、幼稚園等でおはなし会を行っています。研究成果をまとめた冊子は、絵本選びの手引書として活用されるなど、豊富な知識による絵本選びの確かさや、活動により蓄積された読み聞かせのノウハウは、他のボランティアからも信頼を寄せられています。

また、最近では、青少年を対象とした展示の選書など、活動の幅を広げつつあります。

奨励賞

忠海おはなしと絵本の会 (竹原市)

読み語り団体として竹原市内で最初に発足し、その活動は20年以上に及びます。

小学校や放課後児童クラブでの朝読活動を始め、影絵の制作や公民館事業への参画等の活動を行っています。また、地元高校生の読み語りボランティア活動のサポートをするとともに、高校と連携して研修を共同実施しています。

こうした活動は、他の読み語り団体の設立を促すなど、地域に大きな影響を与えています。

奨励賞

小林 いづみ (呉市)

地元呉市から県内外に至るまで、広く読み聞かせ活動を行っています。

県レベルの子どもの読書関係団体の代表及び役員を務め、子どもの読書に関する講師活動を行うなど、指導力を発揮する一方、地元でも地道な活動を続けており、特に、呉市阿賀公民館では、講師活動に加え、阿賀地区青少年補導員連絡協議会との共催事業で中心的な役割を果たしています。

奨励賞

吉田 路子 (呉市)

県内外で朗読活動を行っています。切り絵作家として、主に、宮沢賢治の作品世界を表現した自作の切り絵を携えて宮沢作品の朗読を行っており、工夫を凝らした演出や誠意を持った朗読で多くの人に感動を与えています。

また、地元呉市阿賀公民館では、阿賀地区青少年補導員連絡協議会との共催で、読み聴かせ会や読書関連事業等でアートセラピーを行うなど、独創的な活動もしています。

奨励賞

今井 真弓 (広島市西区)

広島市立西区図書館で17年間、乳幼児とその保護者を対象とした読み聞かせ及び読書相談を行っています。活動開始当時は、例の少なかった乳幼児対象の読み聞かせを、試行錯誤しながら、内容の充実に努め、定着させました。

このような活動により、孤立しがちな若い母親に対して、子育ての良きアドバイザーになるなど、読書普及に加え、図書館における子育て支援にも大きく貢献しています。